

広丘

移築された赤彦の寓居「牛屋」を
見学に来た広丘小学校6年生

広丘を代表する歌人の歌

物思ふ葦にしあれば ゆく雲の

高かきに舞はむ 心をわがもつ

大田靑丘



広丘公民館の最新情報は
Facebookページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/hirookakouminkan>



※撮影時だけマスクを外しています。

松風

大騒動の新年度



コロナ禍が収まらない。はや3年になるが、感染力の強い新顔が現れ、予防接種の繰り返しとなったが、なお収まる兆しが見えない。比較的軽症らしいが、患者は各都道府県かなりの数で、全国的に新聞を賑わせている。マスク生活も散々だ。いい加減に退散願いたい。

そんな中、コロナ関連ニュースを押し付け、世界中に伝播したのが、突然のロシアのウクライナ武力侵攻のニュースだ。一方的な侵略、見るに堪えない無謀さ悲惨さに満ちたものとなった。ロシアの意に従うべきという行動は、あんまりなふるまいではないか。力で一方的に抑え込むことなど許されまい。

北欧からは遠い日本だが、やがて避難民が身を寄せて来た。高森町には4家族9人が避難。先日善光寺を訪れ、戦場の父の安全を祈ったとの報道があった。県内ではウクライナ語通訳の堪能者がおらず大変な状況のようである。

また一方で、今回の紛争と全く関わりのない日本在住のロシア人に対して、中傷したり暴言を発するなどの事例が発生しているともいう。これもあきれた話だ。許されることではあるまい。

4月の下旬、北海道・知床では、遊覧船の沈没という大惨事。世界ばかりではない、大騒動の新年度となった。(T・M)

新年度あいさつ



広丘公民館長
三村 尚志

平和を求めて

沖縄県で1月11日開花した桜は北上を続け、5月8日に北海道釧路で開花宣言となり、観測された全国56地点での桜は順当に日本列島を駆け抜けた。

桜は日本の象徴、植える人、育てる人、眺める人、樹下で楽しむ人、いろんな人々により見守られている。冬を乗り越え、まず木々に花を咲かせる。次に新緑の芽をだし、深緑へと変化させる。春は黄色の花から咲き始めるが桜はピンクで濃淡こそあれ人々の心を惹きつけてくれる。私にとっては「平和」感と次のステップを踏み出す勇氣を与えてくれる存在「樹」だ。

世界に目を向けると、2月24日突如としてロシアによるウクライナ侵攻が始まった。すでに3か月になろうとしている。ウクライナの戦地からはロシア軍の凄まじい攻撃の状況が目に見え、家々の砲弾による破壊状況、高層アパートがメチャクチャになり道路が爆弾で大きな穴となり、木々の緑が消え廃墟のように見えるが、人々が時々自転車などでどこかに向かう姿、火災の消火、がれきの撤去、地下シェルターでの避難生活など、生々しい戦時下の映像は見たこともない悲惨なものだ。

「ロシアが始めた戦争は、欧州全体の安全を危機に陥れた」とフィンランドでは訴えており、非同盟から転換し北大西洋条約機構（NATO）加盟申請を模索している。スウェーデンも加盟を検討している。ロシアに対する危機意識の強い表れである。これによりNATO加盟国は30→32へ拡大する見通しだ。

一方、沖縄県は戦後27年間のアメリカ統治後、1972年の日本復帰から50年を迎えた。核兵器が配備され、基地はベトナム戦争の出撃拠点として使われた。戦争の苦しみを知る人々にとっては、憲法という戦争の放棄や基本的人権など遠い存在であったと思う。

宜野湾市の普天間飛行場の離着陸回数は年1万6千回を上回り、昼夜ごう音が響き、市民の暮らしに影響が大きいことは容易に見とれる。

ウクライナ戦争で高まった危

機感から沖縄だけに基地を求めるのは、国民全体で考えなければならぬ大きな課題である。

こうしたことから、本年度の公民館活動では平和学習の一層の推進を事業計画に盛り込んでいます。戦争体験をした方のお話や県内に残る防空壕等の視察や座学を含む学習を通して「平和」を考える集いの開催を考えております。

また、新たな取り組みとして「広丘学びのカフェ」と銘打って地元講師を迎え、身近な話や長年取り組まれた経験談などを5回にわたつての講座を考えております。

そのほか、昨年6月千葉県八街市で起きた飲酒運転による小学生死傷事件を鑑み、通学路の点検により安全を確保するためヒヤリ地図を小学生の皆さんを含めて作成する予定です。地区の皆様のご協力とご参加をぜひお願いします。

なお、感染症対策にも万全を期し、地区民皆様の参加しやすい公民館を今年も目指します。

うなりあげ

代掻き進む 田園は

豊作祈り

田植え待ちをり



広丘公民館副館長
西沢 和善

4月から広丘公民館・広丘支所でお世話になっております。

公民館活動は、様々な活動を通して地域の方々がつながっていくことができる機会であると感じております。

近年では、災害発生時に人と人のつながりによって助けたり、助けられたりする「共助」と、自身が災害から身を守る「自助」の強化が、被害を少なくするため、特に重要であるとされております。

広丘地区の多様な主体と連携・協力し、住民同士が強い絆で結ばれていく活動を目指すとともに、社会教育や文化活動の充実も推進してまいります。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に気を配りながら、活動が続くようではありますが、十分な安全対策を講じてまいりますので、公民館活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年度 各分館長・主事の紹介

原新田分館

ウイルスを 覆うが如し 梅の雪
かじかむ雷 朝のすがしき



原新田分館長
竹沢 誠

原新田分館長を拜命し2年目を迎えました。昨春コロナ禍での船出となり旧態での公民館活動が制限され

中、中止ありきではなく、何ができるのかと試行錯誤を繰り返して懸命に漕ぎ進んでまいりました。もとより非才な私であり、地区役員や執行部の仲間を支えられ地域の皆さんの御理解御協力を賜りながら活動してまいりましたが、到底目標に足るものではありませんでした。昨年度受賞した公民館アワードを励みに、今年度は感染予防対策をしながらも蔓延状況をみながら色々な行事を企画してまいりますので、多くの皆さんの御参加をお待ちしております。

名まえのねかん字出てきたみや田の田
つぎはなにが出るかな



原新田分館主事
宮田 幸恵

高校生の息子が広丘小1年生の時に書いた短歌です。教科書の新出漢字に自分の名前が出てきて、嬉しくてたまらない気持ちが溢れています。その情景が容易に想像でき、何ともかわいらしく、忘れられない一首になりました。新しい学びにワクワクした気持ちで大人になっても持ち続けたい。この春、原新田は「夜間中学校」を開校し、人生を彩る学びの機会を作っています。今年もさまざまな新しい出会いを楽しみに活動してまいります。

堅石分館

平和なれ おごれる人の ありし世に
野辺の小さき 花の命や



堅石分館長
百瀬 宏

今年度より堅石公民館の分館長を拜命いたしました百瀬宏と申します。未熟ではございますが、御指導の程、

宜しくお願いいたします。ここ2年に渡ってコロナ禍の影響により、公民館行事の中止や代替実施を余儀なくされておりますが、引き続き感染動向を注視しながらも、公民館役員と力を合わせて事業を通して「つどい」「まなび」「むすぶ」ことのできるよう尽力したいと思っております。一日も早い日常が、皆様に訪れることを御祈念申し上げます。

表情を マスクの下に 隠し続け
外したときに やっと思ひ出す



堅石分館主事
平林 克修

堅石分館主事2年目を務めさせて頂きました。イベント開催について多少制約が緩くなった雰囲気はありますが、引き続き予断を許さない状況です。堅石区内で例年開催している行事も内容の見直しや新しい形の開催など検討事項も多く苦慮しています。どうしても広丘の皆さんが繋がりを作る事ができるか、まずは自分が関わる人との繋がりを大切にすることを始めたいと思います。幼少より慣れ親しんだこの広丘に少しでも貢献できるように尽力していきたいと思

郷原分館

世の中は 変化と共に 新たななる
慣例になり 時代は変わる



郷原分館長
塚原 克浩

昨年度から分館長（郷原公民館長）をやって感じたことがあります。行事の実施回数は減っていますが打ち合わせなどは逆に増えています。行事がないから楽というのは違って、行事がないから楽ということに意義を生み出すのか、意見を聞いて実施判断するか、正解がないまま進めることになるかと思えます。もう一年よろしく申し上げます。

春畑で 野鳥が好む トラクター
虫が出るぞと 我先に喰む



郷原分館主事
小林 哲雄

こんにちは、郷原分館主事小林です。役員としては、右も左もわからずに1年を走って参りましたが、痛感することはやはり「何も知らなかつたんだな」に集約されます。公民館という組織の目的、そこに集まる人々の想い、運営側の苦労や願い、様々なありますが、近づくことで大きな収穫がありました。そして今年、その収穫を消費する年。気楽な状況ではありませんが、先のことを考えるのは楽しいですね。

野村分館

爽やかに 交わす挨拶 心地よく
そのほほえみが 元気を誘う



野村分館長
石坂 恵二

公民館長2期目を引き受けました。「縁を尊び、その縁に随う」という私の好きな言葉があります。公民館活動を通じて、沢山の爽やかな人と知り合え、元気をもらっている毎日です。皆が、エンジェルスの大谷選手のように前向きに、一生懸命物事に取り組めたらいいなあと思えます。また、2年間宜しくお願い致します。

ぶどうの枝 春の陽を浴び 発芽して
今から楽しみ 秋の収穫



野村分館主事
三村 紀景

野村公民館主事として2年目を迎え、広丘公民館では館報編集委員を担当します。昨年経験したことを自分なりに考え、今年度の活動に活かしていければと思います。各地区で今までの行事に対して区民アンケートを行い、コロナ禍ではありますが、より多くの人が参加できる行事を模索しています。皆で知恵を出し合い、協力し本来の公民館活動ができるように頑張りたいと思

令和4年度 広丘公民館事業計画

地域の皆様が公民館で「集う」「学ぶ」「つながる」ことを目標に公民館事業を実施してまいります。

●教養部

講座名等	内 容
平和学習会	終戦80年に向け、学習会や戦争関連の施設見学をします。
人権学習会	分館における人権学習会の支援をします。
古文書講座	堅石の三村家に伝わる古文書を読み解き、当時の生活ぶりや歴史を学びます。
文芸サロン	様々なテーマの講演と、演奏や実演を組み合わせ、「学びといこいのひととき」を提供します。
広丘学びのカフェ	・広陵中学校と農業体験。 ・身近な社会的問題の連続講座で学びます。
社協との連携講座	社会福祉協議会と連携し、福祉講座としてSDGsや防災に関わる学びをします。
広丘地区囲碁将棋大会	大人も子どもも囲碁・将棋を通して、コミュニケーションを図ります。

●文化部

講座名等	内 容
第21回広丘音楽祭	11月5日(土)、広丘小学校体育館を会場に広丘地区文化サークルと小中学校合唱部・吹奏楽部が出演し、音楽を通して地域の交流を図ります。
広丘地区文化祭	11月6日(日)、えんてらすを会場に、広丘地区文化サークルと小中学校・児童館の作品展示、サークル体験活動会など、広丘地区の文化の祭典を開催します。

●青少年育成部

講座名等	内 容
ものづくり体験教室	子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらう工作教室をします。
煎茶教室	小学生をはじめ、大人も子どもも煎茶道を親しみます。
広っ子宿題お助け隊	夏休みに公民館会議室に宿題をする場を提供し、助っ人によるアドバイスも受けられます。
サマースクール公民館	小学生を対象に、子どもたちの夏休みの学びの機会を提供します。
えんてらすのクリスマス会	未就園児の親子を対象に、クリスマス会を楽しみます。
通学路の安全点検	地域と連携し通学路を含めた安全マップづくりを推進します。

●館報編集委員会

	内 容
公民館報「広丘」の発行	広丘地区の公民館活動等の情報発信 年3回発行

※新型コロナウイルス対策で、中止や延期される場合があります。

●文芸サロン

回	日時	タイトル	講師	演奏
1	6月23日(木) 午前9時30分	黒曜石の山にブラタモリが やってきた	宮坂 清さん (下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館館長)	金子 響さん(ソプラノ) 田岡 将平さん(ピアノ)
2	7月21日(木) 午前9時30分	芥川龍之介の応援 ～「井月の句集」誕生のために～	堀井 正子さん (文学研究家)	
3	9月15日(木) 午前9時30分	子どもも大人も共に楽しめる 絵本の世界に魅せられて28年	酒井 倫子さん (絵本美術館&コテージ 森のおうち館長)	山田 富康さん(リコーダー) 矢野 修さん(ギター)

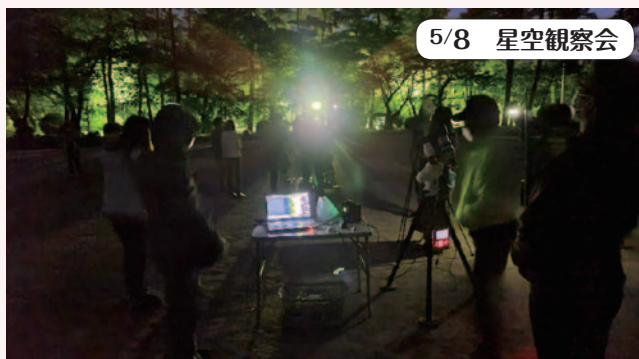
●広丘学びのカフェ連続講座

回	日時	タイトル	講師
1	7月16日(土)午後2時から	感謝される JICA シニア海外ボランティア	茅野 勝彦さん (JICA シニア海外ボランティア)
2	8月20日(土)午後2時から	広丘地区の遺跡の話	牧野 令さん (平出博物館学芸員)
3	9月14日(水)午前10時から	郷福寺の今昔 (会場は郷福寺)	白馬 義文さん (郷福寺名誉住職)
4	10月22日(土)午後2時から	地球温暖化と気候変動10億年の歴史	酒井 潤一さん (信州大学名誉教授)
5	12月17日(土)午後2時から	冬の感染症予防について	渡辺 庸子さん (元県衛生部長)

※実施済、または定員に達し募集をしていない催しがあります。

※各回ごとのお申込みをお願いしています。申込方法は、直近の「広丘公民館だより」でお知らせしています。

野村公民館では、【集う・学ぶ・むすぶ】地域の人づくり・地域づくりの場として体育部・教養部・育成部(小、中学校、保育園、特別役員1名)、野村子ども会育成協議会(特別役員1名)の役員総勢29名が活動しています。新型コロナの影響もあり、大人だけでなく子ども達も、各種行事が中止となり、人との触れ合いができずスマホやパソコンがコミュニケーションツールとなっている昨今、長時間のオンラインゲームや SNS 利用等による心身への悪影響が心配されています。そんな中だからこそ、野村公民館では各種行事の見直しを行いコロナ感染対策をしっかりと行い、家族で楽しめる各種クイズ大会や親子で楽しめる教室、行事を行って



5/8 星空観察会

野村公民館・野村グラウンド

います。役員は細かい打ち合わせをメールやLINEでのやり取りで今まで以上に連絡を取り合っています。

5月8日の「星空観察会」では塩尻星の会の皆さんに講師をお願いして参加者約30名で行われました。星座の基礎知識講座を行い、その後野村グラウンドにて天体望遠鏡で実際に観察しました。講座の知識で星空を見上げると神秘的に見える程でした。子供たちは望遠鏡で見える月の表面に感激して歓声を上げておりました。

今年度も今後各種講座を予定しています。コロナ禍ではありますが野村区民に少しでも多くの憩いの場を用意、提供したいと思います。



4/16 木工教室ひろば

長野県林業総合センター森林学習センター

令和4年度広丘・吉田・高出 戦没者追悼式が開催されました

5月14日(土)、広丘・吉田・高出戦没者追悼式が行われました。コロナ禍により縮小開催、降雨のため会場を広丘体育館に移し執り行われました。



歌碑公園に入ると、「忠魂碑」と刻まれたひとときわ大きい碑がある。広丘では、広丘小学校敷地内北端の県道沿いに、明治44年に建立された。

終戦後、連合国最高司令部の教育関係指令が出され、軍事教練と神道の行事・象徴物の排除の項があった。昭和21年2月21日付けの通達で、「学校内の神道関係施設の撤去命令」が出され、小学校敷地にあつた奉安殿が撤去された。「軍事的顕彰物撤去の指令」があり、22年1月13日には具体的に忠魂碑の撤去が命ぜられ、忠魂碑は破壊されるか地中に深く埋められるかの措置がとられることになった。広丘の場合は破壊されず地中に埋められたことが、再建につながる大きな要因にもなった。28年12月、広丘村議会で忠魂碑再建について質疑があり、このときから忠魂碑を再建すべきかどうかとの議論が始まった。その後、賛成意見の多い村議会と、反対意見の強かった青年会との懇談会が何回ももたれた。広丘公民館報では、紙面討論会や村民アンケート調査を取り上げて、何号かにわたり村民から広く意見を汲み上げている。多くの論争があつたが共通して見えることは、平和を願う気持ちと、戦争のために国に尽くして戦死していった霊を慰めることには、

歌碑公園にある忠魂碑の経緯について

だれもが賛成していることであつた。そこで度重なる協議の結果、「やすらかにねむりください。あやまちは再びくり返しません」という言葉を刻んだ平和の像を、忠魂碑に並べて建てることとまとまつた。

30年4月17日、多くの村民の参加により、厳かに入魂・除幕の式と、慰霊祭が行われた。平和の像は同年8月に完成し、忠魂碑の右手に建てられた。

戦後77年を過ぎた今、ともすれば風化されかねない忠魂碑に、このような歴史的経緯があつたのである。

『塩尻市公民館50年のあゆみ』(平成13年3月発行)より一部引用



退任された分館長

堅石分館長 百瀬 良夫さん

令和4年度 館報編集委員

委員長

竹沢 誠 (原新田)

副委員長

三村 紀景 (野村)

委員

武井 陽子 (原新田)

山崎 隆史 (堅石)

小松 裕尚 (郷原)

長本 奉根 (野村)

平林 利幸 (堅石) ※体協会長

水野 強 (原新田) ※専門委員

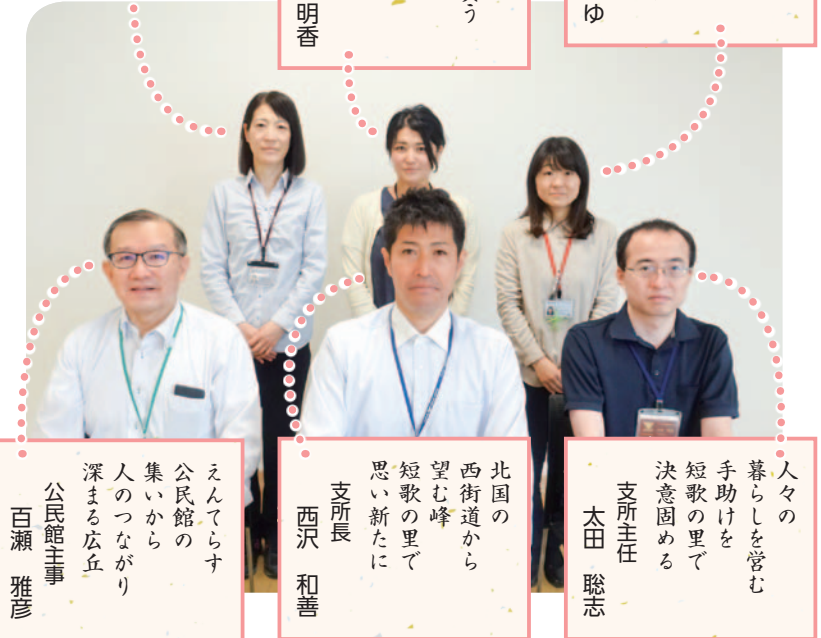
太田 秀保 (野村) ※専門委員

広丘支所職員 自己紹介短歌

長崎 早苗
保健師
続けたい
健康ライフ
いつまでも
自分のために
家族のために

林 明香
窓口担当
街道の
ランドセル背負う
まなごしに
元気をもらう
広丘の朝

藤沢 まゆ
窓口担当
駆け足で
過ぎる一日
夕日を背に
思い出すのは
交わした笑顔



百瀬 雅彦
公民館主事
えんてらす
公民館の
集いから
人のつながり
深まる広丘

西沢 和善
支所長
北国の
西街道から
望む峰
短歌の里で
思い新たに

太田 聡志
支所主任
人々の
暮らしを管む
手助けを
短歌の里で
決意固める

※撮影時だけマスクを外しています。

「えんてらす」の窓から

北部交流センター コーディネーター 中野実佐雄



「見て、感じて、自分で考える」

プロパガンダは政治的意図のもとに主義や思想を強調する宣伝のことを指す。戦争状態になるとこういった情報が増加する。当然のことだ。日本の戦前・戦中はそうであった。あらゆる出版物、あらゆる放送が利用された。今のウクライナとロシアは80年前の世界を見ているようでもある。情報機器

でくくる言葉がある。それは「フェイク」そして「プロパガンダ」、これまであまり耳にしなかった言葉だ。フェイクとは「にせもの」とか「まやかし」といった言葉。今は、SNSが浸透しているため、誰がどんな意図をもって発した情報かつかみづらい。ロシアからの情報もウクライナからの情報もどちらも正しく聞こえることがあるし、にわかには信じられないこともある。遠く離れた場所のことであり、自分の目で確かめられないから厄介だ。結局はどちらを信じるかになってしまふ。

ロシア軍のウクライナ侵攻以降のニュースを見ると、よく飛び込んでくる言葉がある。それは「フェイク」そして「プロパガンダ」、これまであまり耳にしなかった言葉だ。フェイクとは「にせもの」とか「まやかし」といった言葉。今は、SNSが浸透しているため、誰がどんな意図をもって発した情報かつかみづらい。ロシアからの情報もウクライナからの情報もどちらも正しく聞こえることがあるし、にわかには信じられないこともある。遠く離れた場所のことであり、自分の目で確かめられないから厄介だ。結局はどちらを信じるかになってしまふ。

の発展と市民への浸透が進み、より複雑化している点を除いては。5月22日に写真家・映画監督である本橋成一氏をえんてらすにお招きした。信州しおじり本の寺子屋の講演会でお話を聞いた。同時に写真展を開催した。展示したのはチエルノブイリ原発事故に関する写真。写し出されているのは、農作業をする農夫や子どもたちの笑顔やのどかな風景だけだ。ここからはチエルノブイリ原発事故後の写真だとは思えない。しかし、これは事故後の現実を写した写真なのである。これらの写真を見て、写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。水俣病を世界に広めた写真家、ユージン・スミスは写真を見る者に求めていた。「写真を写す者」に求めていた。「写真を写す者」に求めていた。写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。水俣病を世界に広めた写真家、ユージン・スミスは写真を見る者に求めていた。「写真を写す者」に求めていた。写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。

の発展と市民への浸透が進み、より複雑化している点を除いては。5月22日に写真家・映画監督である本橋成一氏をえんてらすにお招きした。信州しおじり本の寺子屋の講演会でお話を聞いた。同時に写真展を開催した。展示したのはチエルノブイリ原発事故に関する写真。写し出されているのは、農作業をする農夫や子どもたちの笑顔やのどかな風景だけだ。ここからはチエルノブイリ原発事故後の写真だとは思えない。しかし、これは事故後の現実を写した写真なのである。これらの写真を見て、写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。水俣病を世界に広めた写真家、ユージン・スミスは写真を見る者に求めていた。「写真を写す者」に求めていた。写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。

の発展と市民への浸透が進み、より複雑化している点を除いては。5月22日に写真家・映画監督である本橋成一氏をえんてらすにお招きした。信州しおじり本の寺子屋の講演会でお話を聞いた。同時に写真展を開催した。展示したのはチエルノブイリ原発事故に関する写真。写し出されているのは、農作業をする農夫や子どもたちの笑顔やのどかな風景だけだ。ここからはチエルノブイリ原発事故後の写真だとは思えない。しかし、これは事故後の現実を写した写真なのである。これらの写真を見て、写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。水俣病を世界に広めた写真家、ユージン・スミスは写真を見る者に求めていた。「写真を写す者」に求めていた。写し出されている人々の暮らしを想像し、その背景を感じることが大切だ。そこから、自らが「原発とは何か」を考えることができたと思う。

体協だより

広丘地区体育協会キャッチフレーズ
スポーツを通じ、明るく笑顔で、
健康づくりと仲間づくり

広丘地区体育協会 会長 平林利幸

平素より体協への御支援・ご協力をたまり感謝申し上げます。

過日、市体協の総会が開催されました。各地区体協の総会もそれぞれにおいて開催されたものと思われま

す。広丘体協も総会が開催され無事閉会に至りました。市体協及び各地区体協の会長からは、コロナ感染の影響にて十分な事業の開催ができず誠に残念、という

言葉が聞かれました。令和4年度においては、感染の心配には十分な注意を払いつつ事業の開催を実施していきたいとの意向です。

広丘体協も各人の気持ちを尊重しつつ、実施に向けて調整してまいりたいと思います。御理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

広丘地区体育協会 副会長 小野 宏 (NPO 塩尻市体育協会担当)

塩尻市体育協会の総会が4月26日に開催され、事業計画と予算が決まりました。主な審議結果についてご報告します。

◆主な事業

市民体育祭 (7月)

市民水泳大会 (8月)

武道大会 (9月)

いきいき市民健康ウォーキング (10月)

市民体育祭スケート競技 (12月)

◆法人化20周年 記念式典・記念講演会

1月14日、レザンホールにて

●「塩尻市スポーツ協会」への名称変更

令和4年度を準備期間とし、令和5年度の総会における議決を経たのち県に認証申請する

4月25日より感染警戒レベル5以下であれば学校体育施設が使用できるようになりました。施設利用ルールをしっかりと守ってスポーツを楽しみましょう。

令和4年度 前期広丘地区体育協会事業計画

新型コロナ対策で既に中止が決定された大会等があります

No.	大会名等	実施予定日	曜日	開会時間	会場
1	広丘・吉田・高出地区ナイターソフトボールリーグ戦	5月～8月		20:00	吉田小・広陵中学校庭
2	広丘・高出中学生春季ソフトテニス大会	5月15日	日	8:30	中央スポーツ公園
3	広丘・高出地区ソフトバレーボール交流会	5月15日	日	9:00	広丘小体育館
4	春季ゲートボール大会	5月18日	水	8:30	野村グラウンド
5	ふれあいスポーツ教室	5月21日	土	19:00	広丘小体育館
6	春の広丘・高出ミニバレー交流会	5月29日	日	8:00	広丘小体育館
7	広丘・高出地区支部対抗野球大会	5月29日	日	8:00	野村グラウンド
8	広丘・吉田・高出地区少年野球大会	6月11日	土	8:00	北部公園運動場
9	広丘地区合同稽古会	6月12日	日	16:00	広丘小体育館
10	広丘・吉田・高出地区スポーツ少年団交流会	7月9日	土	8:45	小坂田公園
11	市民体育祭夏季大会	7月17日	日	8:00	市内各会場
12	広丘・高出地区支部対抗野球大会 (40歳野球)	8月28日	日	8:00	野村グラウンド
13	広丘地区剣道合同錬成会	8月28日	日	8:00	広丘小体育館
14	広丘・高出地区支部対抗混合野球大会	9月18日	日	8:00	野村グラウンド
15	秋季ゲートボール大会	9月21日	水	8:30	野村グラウンド
16	ダンススポーツ交流会	9月25日	日	17:00	広丘小体育館

中止

参加者随時募集中！ 広丘地区在住の大勢の皆さんの参加をお待ちしております。

問い合わせ先
広丘公民館
☎ 0263-52-0157

ふるさと探訪

百年前の流行性感冒七

「ふるさと探訪」で百年前の流行性感冒を取り上げてから3年目になります。

当時の新聞や『学校日誌』から、長野県内では大正7年10月下旬から11月にかけて流行し始めたことがわかってきました。流行性感冒に罹る県民が日に日に増し蔓延の傾向にあると判断した長野県は11月1日から各警察署に、管内の発生患者数を報告させるようにしています。11月2日には「県下を通じた風邪の患者はざっと六七万人」の見出しで長野、東筑摩、松本、飯田、岡谷など報告のあった地域を掲載し、山間部の栄村では小学3年生の女子が余病を併発し、亡くなったことや数名の死亡者のあることも記事にしています。

「悪風邪」により死亡の記事は11月下旬以降連日書かれるようになります。

▲西筑摩郡に於ける流行性感冒は益々猖獗を極め4名の死亡を出し、殊に死亡率は妊娠せる婦人に多き如くなれば二人宛の死と異ならず

▲感冒で死んだ人 北安曇郡神城村において今回の流行性感冒にて二十日迄に殞されたるは男二人女二人なり

▲松代の猛烈 本月に入ってから廿日頃迄の風邪に起因した死亡者は十八名にすぎなかったが、廿五日に至って半日の死亡者十二名とききたので、戸籍吏は実に空

前だと驚異の眼をみはって居る

▲伊那死者多し 上伊那郡に於ける感冒は益々猛烈に流行し漸次悪変して死亡続出し実に悲惨なるものあり(略)平坦部より山の手にも多く死亡者は三十歳前後の者に多しといえり

▲木曾の感冒 西筑摩郡に於ける流行性感冒は鉄道沿線町村の稍衰退せるに反し山間の僻邑は益々猖獗を極め百戸内外の部落にて日々一人三人の死亡者を出し、甚だしきは全戸枕を並べ或いは幼児のみを遺して両親の死亡せる等の悲惨事も少なからず12月に入っても死亡の記事は続きます。

▲東筑の悲惨 東筑摩郡の悪性流行性感冒は依然猖獗を極め各村とも罹患者多く其の死亡率も漸く増加し一家より数名の死者を出したりと云う悲惨な話は到る所にあり

▲南佐猖獗 南佐久郡の悪性感冒は病勢一時衰退の模様なりしが気候不順の為か近來著しく該患者増加のみならず死亡者も続出益々猖獗を極めつつあるが、目下尤も猛烈なりは白北大澤、前山岸野村の諸村にして(略)大澤岸野の如きは数日間に数人の死亡者を出すなど悲惨事続発発病勢漸次悪変化を来しつつあり

▲岳南の感冒 下高井郡倭以南一町十一か村人口三万八千四十六人の内十一月廿六日迄に流行性感冒患者総人員は一万五千三百人にして死亡届出五十六人なり

死亡率の尤も多きは高丘村十三人平穂村八人夜間瀬村平岡村各七人中野町八人に未だ撲滅期に至らざる傾向なり

▲東筑は五万 東筑摩郡の悪性流行感冒は最近の調査によれば人口十三万四千二百九十九人の内罹患者は五万二千三百十七人に達し、其の内死亡者二百三十七

人を生じ目下の患者は約五千人ありき

▲二日間に生徒十五名死亡せり 北安曇郡内山間部に於ける流行性感冒は目下猖獗の極に達し諸所に死亡者を出すに至りしが、就中広津村は最も甚だしく同村小学校に於いて僅か此處二日間に生徒十五名の死亡者を出し大恐慌を来し休校せり

▲一部落患者千八百名 須賀川の惨状 下高井郡夜間瀬村字須賀川の悪感冒は初発以来千八百余名の多き有様にて終息の傾向さらになし 村当局にては学校其の他二か所を借り病舎に当て患者を収容し治療中なるが多数の事として且つ降雪寒気等の加わりて惨状目も当てらざる有様なりと

▲東筑摩郡山間部 東筑摩郡の悪性流行感冒は段々と山間部を襲い其の性質は益々悪変し肺炎を起こさぬ内に極度の高熱にて死亡する者漸々多く一家に数名を出したりと云うが如き悲惨事は至る所に聞くに至れり

▲五ツの小児が残つて一家全滅す 南佐久郡に於ける悪感冒は猶も猖獗を極めつつあり一家二名以上の死亡者を出すも珍しからざるが、南牧村海ノ口にては夫婦と一名の子と三名棺を並べて死亡し本年僅か五歳の幼児只一人生き残りて父母を慕い居れる様悲惨なり

10月下旬から流行しはじめた悪性感冒は瞬く間に県下に広がりを見せ、11月下旬から12月、多くの死者を出しています。その中でも、12月は山間部を中心に悲惨な状況が県下各地で起こっていたことが新聞記事から明らかになりました。

(太田秀保)

編集後記

今年度より「公民館報広丘」の編集委員長を任せられました。もとより文才の無い私に何ができるのか不安を抱えたままのスタートとなりました。

広丘公民館の管内は新規転入者も多く、又、地域内交流が希薄になりつつある現代社会に加えて、コロナ禍で更に交流が少なくなっている。今、「公民館報広丘」は、地域内交流の接点として重大な使命を担っているものと感じております。

地域の皆様が「つながる」ために、親しみをもって多くの方々に読んでいただける館報になることを願ってやみません。

(編集委員長 竹沢 誠)

世帯数と人口

(令和4年6月1日現在)

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,906	2,057	1,998	4,055
堅石	1,036	1,289	1,314	2,603
郷原	701	769	735	1,504
野村	2,720	2,904	2,631	5,553
計	6,363	7,019	6,678	13,697
塩尻市	28,587	33,097	33,138	66,235

令和4年6月25日 発行

編集・発行：広丘公民館

印刷：日本ハナコ印刷

住所：〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村2069-1 電話：0263-52-0157 FAX：0263-53-3769

E-mail: hirooka@city.shiojiri.lg.jp